

県庁通りまちづくりワークショップ Vol.2

沿道で何が出来るか考えてみよう！

を実施しました！

平成30年1月30日（火）に西川アゴラにて、「県庁通りまちづくりワークショップ」を実施しました。県庁通りの利用者（地域住民や学生）や、沿道事業者、交通事業者、まちづくり関係団体（NPO）、大学関係者、行政等、計23名のご参加いただきました。



◆今回のワークショップのねらい

人口減少や少子高齢化・・・。まちで活動する人がどんどん増え、建物や公園など作れば作るほど使う人がいた「これまでの時代」とは違い、人口が減り、放っておけば空き家や空き地がどんどん増えていくと言われる「これからの時代」で、まちの魅力や賑わいを創出するためには、これまでとは違った“まちの使い方”を考えていく必要があります。

今回のワークショップでは、1車線化して拡がる歩道空間や店先の空きスペース、まちなかの空き地や駐車場を、もっとまちの魅力や賑わいに活用することは出来ないか…意見を出し合ってみました！

◆ワークショップの進め方

- ① 以下の2つにグループ分け
 - ・まちなかの低・未利用地の活用を考えるグループ
 - ・歩道や店先の空きスペースの活用を考えるグループ
- ② 他都市の写真やイラスト資料を見てイメージを喚起
それを踏まえて意見交換
- ③ 実際にまちに出て、「どんな活用ができるか」、「どんな物があったら魅力と感じるか」等、イメージを膨らませる。
- ④ 会議室に帰って意見交換
- ⑤ まとめた意見を参考に、よりイメージを具体的にするために絵にする。

低・未利用地とは

空き地や空き家、空き店舗などの未利用地と、まちと比べ利用頻度や整備水準の低い、一時的に利用されている青空駐車場や資材置き場など低利用地の総称

◆ワークショップの結果

まちなか低・未利用地活用グループ



- 駐車場は必要だけど、通りに面している部分はお店など賑わいの空間がいい
- 建物が建つ場合は、セットバックして広々と歩けたり、生まれた空間を活用できるようにしたい！
- 歩きたくなるような仕掛けづくり（緑の空間、写真スポット、集える空間、アートの展示など）

歩道・店先活用グループ



- 店先や歩道を使ったオープンカフェ
- 通りを使ってパフォーマンスができる空間があったら面白い！
- 建物や道路のデザインに統一感があれば歩きたくなる
- シンボルとなる木。その木陰で休める空間があるといい。

様々な活用アイデアや“まち”のイメージについての意見がでてきました。これらを実現するためには、実際に活用する「まちのプレイヤー」や活用する「ルール・仕組み」などが必要になってきます。今後も魅力的で賑わいのある通りを目指して事業を進めていきたいと思っております！

◆県庁通りでの取り組み



今年度開催した県庁通りまちづくりワークショップでは、通りのイメージや“まち”の活用方法の検討など、ワクワクするようなことを考えてきました。

来年度以降は、これらをより具体的に、また実現するために、仕組みやルールを検討するなど、さらに一歩踏み込んだ話し合いができればと思います！

◆お問い合わせ先

岡山市都市整備局庭園都市推進課
TEL:086-803-1393 FAX:086-803-1740



県庁通りでの取り組みについては岡山市のHPでもご覧いただけます！

http://www.city.okayama.jp/toshi/teien/teien_00071.html